

会 議 等 結 果 報 告 書			
会議区分	会 議 ・ 打 合 せ ・ 協 議	文書番号	上富自推 第 123 号
		決裁期日	令和 4 年 12 月 6 日
名 称	住民会長との町政懇談会		
日 時	令和 4 年 11 月 30 日（水） 13 時 30 分～15 時 20 分		
場 所	公民館 大ホール		
出席者	住民会長20名（別紙） 理事者：斉藤町長・佐藤副町長・鈴木教育長 課長・主幹職：及川会計課長他14名（別紙） 町民生活課自治推進班：中島主査		
内 容	司会：佐藤副町長 ○議題の前に教育長、課長職の自己紹介 ○斉藤町長挨拶 コロナ 3 年目になるが、なかなか終息の見通しも立たず、町内会活動、住民会活動もご苦労されていると思う。物価高騰・エネルギー高騰に直面しさらに厳しい状況であるが、よりよい町政を目指し進めなければと考えている。 任期半ばを過ぎ、細かい単位で住民の皆さんの話を聞きたいと考えており、実施に向け計画しているところである。住民会長の皆さんのご協力をお願いすることもあると思う。よろしく願いたい。 【議題】 1 洪水浸水想定区域拡大について（総務課） 説明者：総務課長より資料 1 に基づき説明 質 問：具体的に何mm程度の降水量を想定しているのか。（里仁住民会長） 回 答：24 時間で 448 mmの降水量を想定している。（基地調整・危機管理室長） 2 新型コロナウイルス感染症対策について（総務課） 説明者：総務課長より資料 2 の新型コロナウイルス感染症対策の取組経過について説明 新型コロナワクチン接種状況について（保健福祉課） 説明者：健康づくり担当課長より資料 2（ワクチン接種関係）説明 12 歳から 64 歳の接種率については、実施中のため今後若干上がる見込み。 5 歳から 11 歳は小児科のある協会病院で実施。 ワクチン接種にあたり町内の医療機関に協力をいただいております、10 月から 12 月の接種については、インフルエンザの予防接種との間違い接種防止のため、このような日程である。		

年明け1月から2月にかけて60歳以上と59歳以下で基礎疾患がある方は5回目の接種となる、オミクロン株対応2価ワクチンの接種を予定しており、12月末に案内発送予定。オミクロン株対応2価ワクチンの接種は国で一人1回とされている。これを接種すればワクチン接種は一旦終了。

国からの情報では、特例接種として実施している現体制での接種は令和5年3月末をもって終了となる予定。

質問：令和5年3月のあと有償になるのか、予防接種自体なくなるのか。

(東中住民会長)

回答：国の方針が示されておらず、公表できる情報がない(保健福祉課長)

質問：最終ということでもないのか。もう終わりなのか。そのあと有償になるか、無償になるかわからないのか。(東中住民会長)

回答：今わかっていることは、全額国の負担による特例の臨時接種という今の体制が3月末で終了するということだけ。以降のことはわからない。(保健福祉課長)

質問：防災無線による町内の感染者数の放送がなくなった。継続できないか。(南町住民会長)

回答：感染者数の把握方法が変わり、上富良野町の全数というのが把握できない。(総務課長)

質問：町で感染者数を把握できないとのことだが、今後感染者数が増え対応策をとるときに、適切な判断ができるのか。(島津住民会長)

回答：北海道(保健所)も総数しかわからない状況である。学校やこども園は保護者からの報告により、適切な対応が取れると考えている。また、一般の方については、所属の組織や職場がそれぞれに対応していくというステージになってきている。国の集計の仕方や北海道の対応が変われば別の対策も示されるかもしれないが、現状、それぞれの単位で感染対策をとっていただくにとどまっている。(副町長)

質問：インフルエンザ予防接種のように任意接種となるのか。それもわかっていないのか。(富原住民会長)

回答：今はわからない。

3 冬期の健康づくりの推進について(保健福祉課)

説明者：健康づくり担当課長より資料3に基づき説明

11月25日号広報に差込みしているチラシの申請書を利用してかみん、社教センターそれぞれで申請し、利用していただきたい。

昨年は、237人の申請があり8人が継続利用となった。

4 除雪サポーターの募集について(保健福祉課)

説明者：健康づくり担当課長より資料4に基づき説明

平成29年度から始まり、6年目となる。毎年約100世帯から申し込みがある。令和3年度の実績では12名のサポーターとして登録いただいでい

る。作業の担い手不足が課題としてあり、住民会長の皆様にはサポーターとして登録できる方の情報提供をお願いしたい。サポーターの方は高齢者事業団の臨時作業員としての登録となる。

5 令和4年度高齢者実態調査について（保健福祉課）

説明者：健康づくり担当課長、高齢者支援班主幹より資料5に基づき説明

質問：老々介護が増えている。町長としてどのような対策を考えているか。
町長の思いをお聞かせ願いたい。（東中住民会）

回答：要介護認定、介護支援が必要な人の絶対数は増えている。介護度が進めば施設入所の選択肢もあるが、それまでは、家庭での介護が実態と考える。ボランティアや在宅介護の手助けは重要な課題と考えており、社協含め各団体ボランティアの力も借りて、まち全体として取り組んでいく課題と考えている。（町長）

6 民生児童委員改選について（保健福祉課）

説明者：健康づくり担当課長より資料6に基づき説明

当町の民生委員・児童委員は34名、任期により12月1日をもって別添名簿のとおり改選となる。住民会長の協力に感謝申し上げます。

7 町道の除排雪について（建設水道課）

説明者：建設水道課長より資料7に基づき説明

質問：上富良野高校の前の道路、通勤・通学の道路と思うが、歩道が高校側しか除雪されないことと、排雪について回数を増やしてほしい
（旭住民会長）

回答：高校の通りは車道の幅も狭いため、車道を確保し、片側の高校側の歩道のみあけている。反対側は道路の雪、近所の方の出している雪で埋もれている個所もある。両側を開けることは厳しいが、交差点含め、パトロール実施しながら状況を確認し、対応していきたい。（建設水道課長）

8 町政懇談会の開催について

説明者：町民生活課長より説明

これまで4月、11月、1月の3回開催していたが、4月と11月の2回の開催にさせていただきたいと考えている。

その代わりではないが、町長挨拶で申し上げたとおり各住民会へ町長が出向き、地域町政懇談（仮）という形で実施をさせていただきたい。詳細については、追ってご案内させていただくが、時期を決めず、一年を通してすべての住民会で実施したいと考えている。

1時間程度、テーマ等も決めず、フリートーク形式で行う予定。地域からのテーマ等あれば担当課長の同行も考えている。動員をお願いしまでの実施は考えていないが、地域で集まる機会等利用して開催させていただきたい。

副町長：町長と語ろうという形で、特定の課題をテーマにして町長と話す機

会はあるが、それ以外に住民会に出向いて話をさせていただきたい。大きな住民会もあるので、どれくらいの人数でどこの場所で行うかなど要望があれば、自治推進班までご連絡いただきたい。

町 長：フリートーク形式で肩肘張らず話を聞かせていただきたい。その場では答えを出せない課題もあると思うが、課題を認識する機会として、年齢層も問わず、参加していただければと思う。

9 その他

葬祭場について（町民生活課長）

説明者：昭和 49 年建設以降、施設の老朽化や部品の供給停止などの課題を抱え稼働中。今後のあり方について検討している最中。一つの案としては中富良野町の火葬場の共同利用も検討していることをご報告させていただく。（町民生活課長）

副町長：相手があることなので、今すぐということではない。今後どうなるかは、いろいろな課題をクリアしていきながら、新築、改修、共同利用など選択肢を考慮しながら検討、協議を進めていかなければ問題。

質 問：町のスタンスを決めてから協議しなければならないのでは。受け入れる側の中富良野町も条件によって対応が変わるのではないか。また、タイムリミットがどこかにあると思うが。（島津住民会）

回 答：長期継続契約が令和 7 年までとなっているので、共同利用の場合、早くても令和 8 年のスタート。中富良野の施設を利用するとなると改修も必要になってくると思う。6 年に予算、7 年に改修となることを考えると、判断は今年中か来年の中ごろまでがリミットかなと考えている。（町民生活課長）

○意見交換

島津住民会長

- ◆高齢者事業団、農作業への派遣をしなくなった。作業員が 0 ではないと聞いているが、なんとか復活の検討を。
- ◆健康づくりのために 1 か月無料ではなくすべて無料にしては。1 か月だけでなくずっと無料にしては。関連して、町施設の利用料も無料にしてはどうか。どの程度入ってくるのか。

副町長

高齢者事業団も会員減や会員の高齢化の問題を抱えていると聞いている。広報や防災無線を使った会員募集など取り組んでいる。町から指示することはできないが、募集などできることは手助けしていきたい。

町 長

ご負担いただく使用料は貴重な財源であり、使用した方にご負担いただくという形を変える予定はない。

宮町住民会長

施設利用料としてどれくらい収入があるのか数字で出してもらっては。

町 長

負担については従来通りで考えている。数字については、次回懇談会でお答えしたい。

東中住民会長

ふるさと納税について、どのようなシステムで物産が流れて手元に届き、どのように評価されているのか。

企画商工観光課長

ポータルサイトで商品を選んでいただく。寄附いただいた額に対し送料、手数料含め 5 割の範囲内で返礼品を出すことができる。これについては、ポータルサイト事業者が実施している。

東中住民会長

農産物の返礼品についてクレームを耳にする。町では品質の管理にかかわっていないのか。

企画商工観光課長

町でも承知しており、クレームに関しては事業者へ注意している。返礼品は町では管理していない。

東中住民会長

注意では効かない。きちんと管理しないのか。町の農産物のブランドに関わってくる。一番の問題は上富良野町のブランドが低下すること

副町長

ポータルサイト運営会社と連絡を密にしていく。

島津住民会長

同じところのクレームばかりだが、確認しているか。仕組みが悪いのか

副町長

現物、品物を 1 個 1 個の点検確認することは不可能だが、関わる事業者へ指示していかなければならないと考える。

宮町住民会長

あまりにひどい場合事業者から外すような基準はないのか。

副町長

改善されない場合には事業者から外れていただく対応もするが、基準があるかどうか、今持ち合わせていない。

東中住民会長

一番の問題は上富良野町の農産物ブランドが低下すること。それを頭に入れて対応していただきたい。

副町長

事業者の点検を一度実施するが、農業者以外の方が事業者となる場合はある。商品売ると同様にお店が品質を管理することを前提に、適正な執行に努めていきたい。

町 長

ある事業者のために、上富良野のブランドが下がることはあってはならない。ブランドを守るため、しっかりやっていく。

農家以外の方が事業者になることについて、様々なケースがあり、一概にすべて不可とならないことは、ご理解いただきたい。

西富住民会長

11月20日に50人程参加予定のふれあいサロンを予定していたが、町内の学級閉鎖や医療機関の閉鎖等考慮し、2日前に中止した。しかし、11月19日には教育委員会の行事が開催されていたと聞く。行事の開催にあたり、基準などはあるのか。

教育振興課長

参加人数や感染対策など十分考慮して実施している。今後も住民参加の行事は進めていく。

教育長

同じ行事でも、3年前とは開催方法が変わっている。活動をやめないためにどうすれば開催できるかを検討し、実施している。

西富住民会長

公民館前交差点、一時停止しない車が多い。標識が小さいのでは。強調したりできないのか。

町民生活課長

停止線や標識は我々では、どうにもできない。現場を確認し生活安全推進協議会通じ警察とも協議していく。

《閉会》

(15時20分)